

## 研究に関するご協力をお願い

福島県立医科大学眼科学講座では、本学倫理委員会の承認を得て、下記の研究を実施します。本学における診療情報の利用について、関係する皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

2024年7月

福島県立医科大学 医学部 加齢性眼疾患治療学講座 石龍 鉄樹

■ 研究課題名 摘出眼球を用いた黄斑変性関連因子の検討

■ 研究期間 2024年8月～2027年3月

■ 研究の目的・意義

ヒトの視力は高度に発達し、現代社会では情報の伝達共有に欠かせないものになっています。その中心的な役割を果たしているのは黄斑と呼ばれる部分ですが、黄斑変性によりその機能が損なわれてしまいます。黄斑変性を克服するためには黄斑に見られるタンパク質や遺伝子情報を検討することが必要です。遺伝子解析から黄斑変性に関する遺伝子異常が指摘されていますが、この遺伝子異常が眼局所に直接出ているのか、それとも全身のどこかの細胞に異常をきたし、結果として目に異常が発生するのかわかるとは不明です。この点を解明する目的で、既に病理診断に使用された眼球組織を使って検討を行う計画を立案しました。今後の黄斑変性治療の開発に貢献することができると考えています。

■ 研究対象となる方

2013年4月から2027年3月に福島県立医科大学附属病院で眼球およびその付属器の摘出治療を受け、病理標本が作製されている患者様。眼内悪性黒色腫等で眼球摘出を受けられた方で、黄斑部に一部健常な組織が残っている方。

## ■ 研究の方法

対象となる方の眼球標本を試料として使用させていただきます。また、診療情報から年齢、臨床病理学的因子、治療内容などの項目についてデータを収集します。

生検標本、組織切除標本、病理解剖標本についてはパラフィンブロックとして保存されておりますので、一般財団法人 福島医大トランスレーショナルリサーチ機構で薄切し、免疫染色、FISH 法、遺伝子変異解析を行います。また、凍結材料についてはクライオスタットを用いて凍結切片を作成し、免疫染色、FISH 法、遺伝子変異解析を行います。

氏名等の情報は削除し研究ID に置き換え、匿名性を確保いたします。また、本研究によって患者様の診断・治療が変更になることはありません。

## ■ 試料・情報の利用を開始する予定日

2024年8月1日～

## ■ 研究組織

この研究の研究責任者および分担責任者の氏名は次のとおりです。

集められた情報の管理責任者は福島県立医科大学学長 鈴木弘行であり、それらの情報は福島県立医科大学眼科学講座で利用し解析を行います。

研究責任者	福島県立医科大学 加齢性眼疾患治療学講座	石龍 鉄樹
研究分担者	福島県立医科大学 眼科学講座	森 隆史
	福島県立医科大学 眼科学講座	田中 啓一郎
	福島県立医科大学 眼科学講座	則川 晃希

## ■ 他の機関などへの試料・情報の提供について

組織標本作製を一般財団法人 福島医大トランスレーショナルリサーチ機構に業務委託します。

## ■ この研究に関する問い合わせについて

この研究に関して質問などございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象の方の個人情報や知的財産の保護などに支障がない範囲で、研究計画書や研究方法に関する資料が閲覧できます。

また、試料・情報がこの研究に利用されることについて、研究対象者ご本人または代理の方にご了承いただけない場合は、研究対象者とはせずに試料・情報の利用や提供はいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人または代理人の方に不利益が

作成日：2026年4月15日（第3版）

生じることはありません。なお、研究結果がすでに医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合は、データを取り消すことは困難な場合もあります。

■ 試料・情報の利用を望まれない場合等の連絡先

〒960-1295 福島県福島市光が丘1

公立大学法人福島県立医科大学 加齢性眼疾患治療学講座 担当 石龍鉄樹

電話：024-547-1303 FAX：024-548-2640

E-mail：[sekiryu@fmu.ac.jp](mailto:sekiryu@fmu.ac.jp)